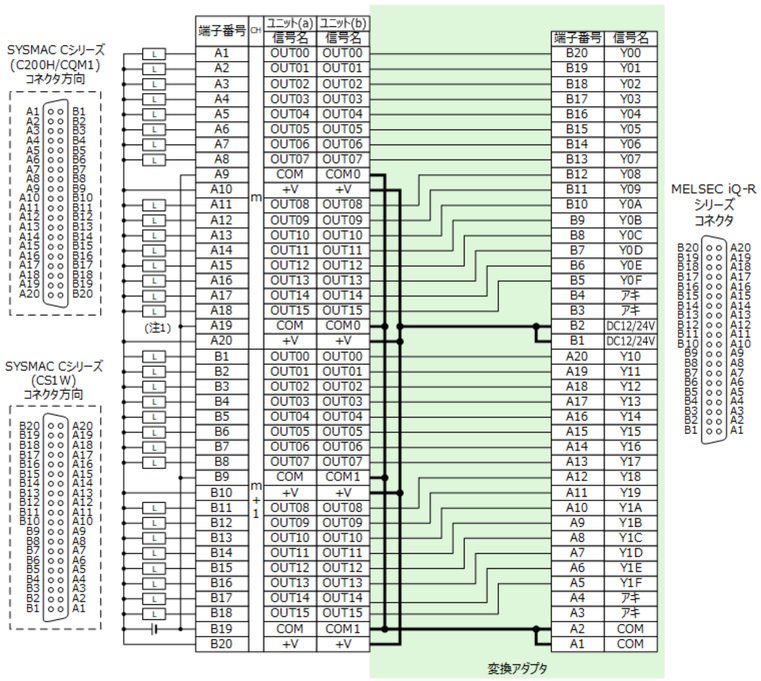
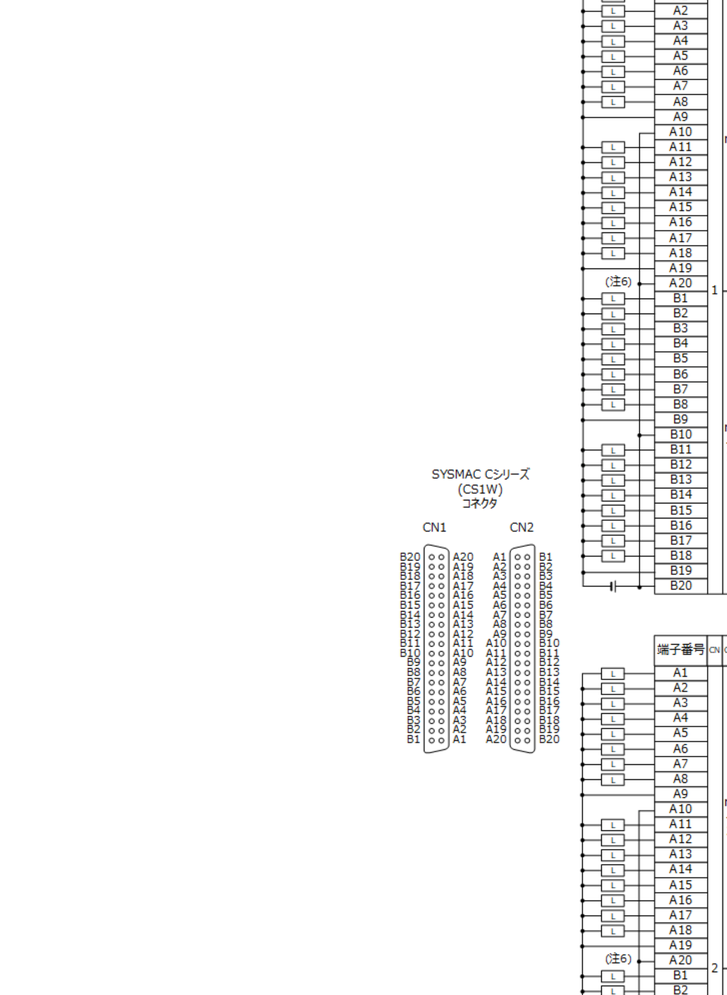
(a) C200H-OD218/CQM1-OD213⇒RY41NT2Pの場合
(b) CS1W-OD231/CS1W-MD261（出力側）⇒RY41NT2Pの場合



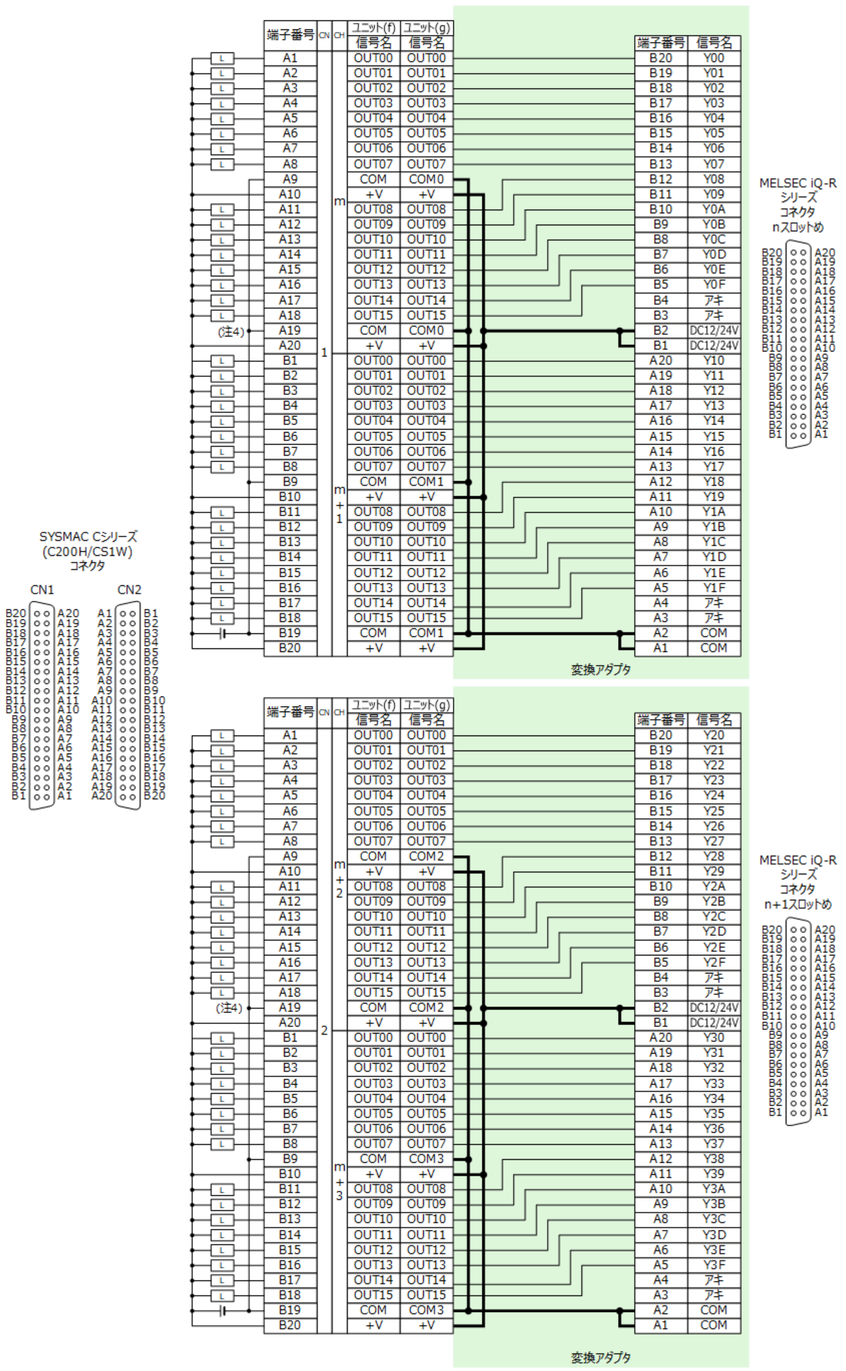
(注1) CS1W-OD231/CS1W-MD261（出力部）からの置き換えにおいて，1コモンあたりの点数が，16点／1コモン（2回路）→32点／1コモンとなるため，既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は，配線の変更が必要となります。

(c) C200H-OD21B⇒RY41PT1Pの場合
(d) CQM1-OD216⇒RY41PT1Pの場合
(e) CS1W-OD232/CS1W-MD262（出力側）⇒RY41PT1Pの場合



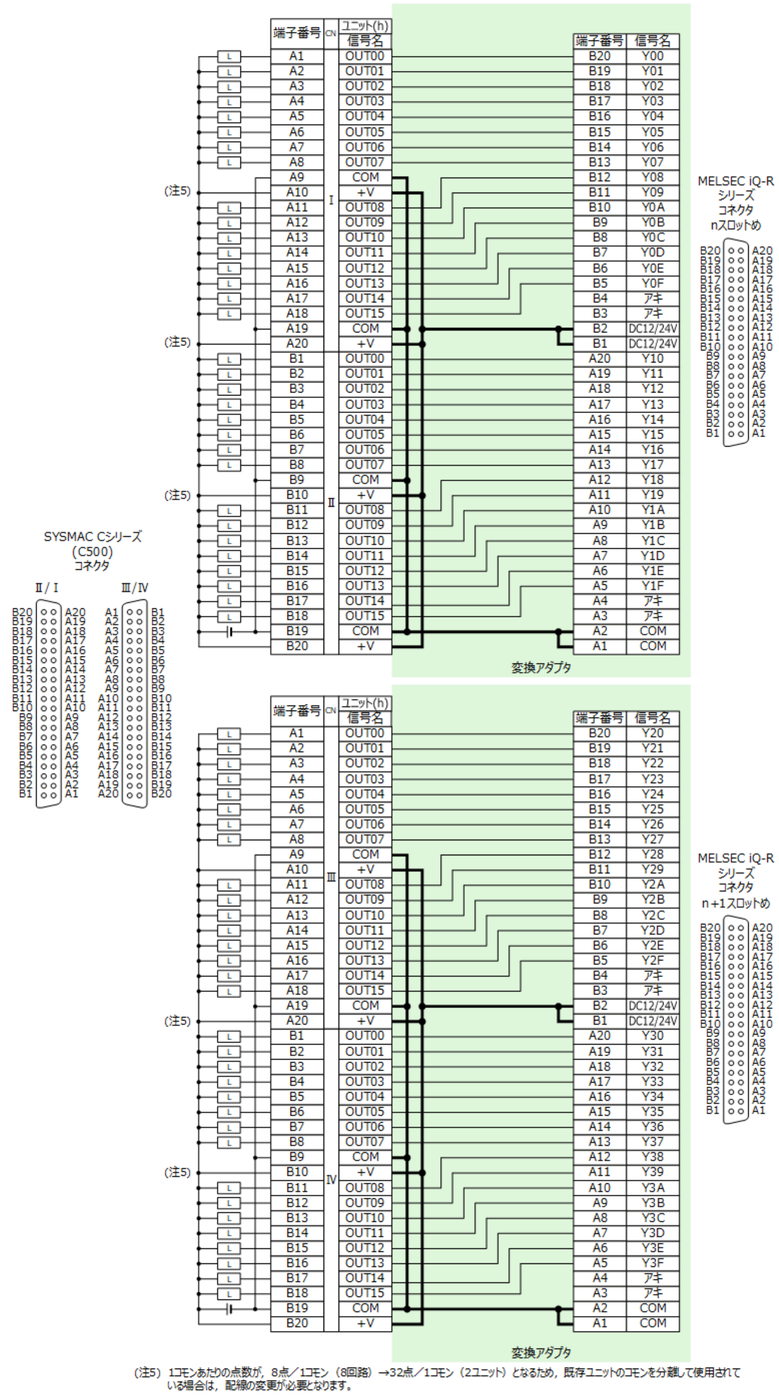
(注2) CS1W-OD232/CS1W-MD262（出力部）からの置き換えにおいて，1コモンあたりの点数が，16点／1コモン（2回路）→32点／1コモンとなるため，既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は，配線の変更が必要となります。
(注3) CQM1-OD216からの置き換えにおいて，CQM1-OD216側のALM出力(端子番号A19)は，MELSEC iQ-RシリーズRY41PT1Pに機能がありません。
ALM出力は常時Lowになります。

(f) C200H-OD219⇒RY41NT2Pの場合
(g) CS1W-OD261⇒RY41NT2Pの場合



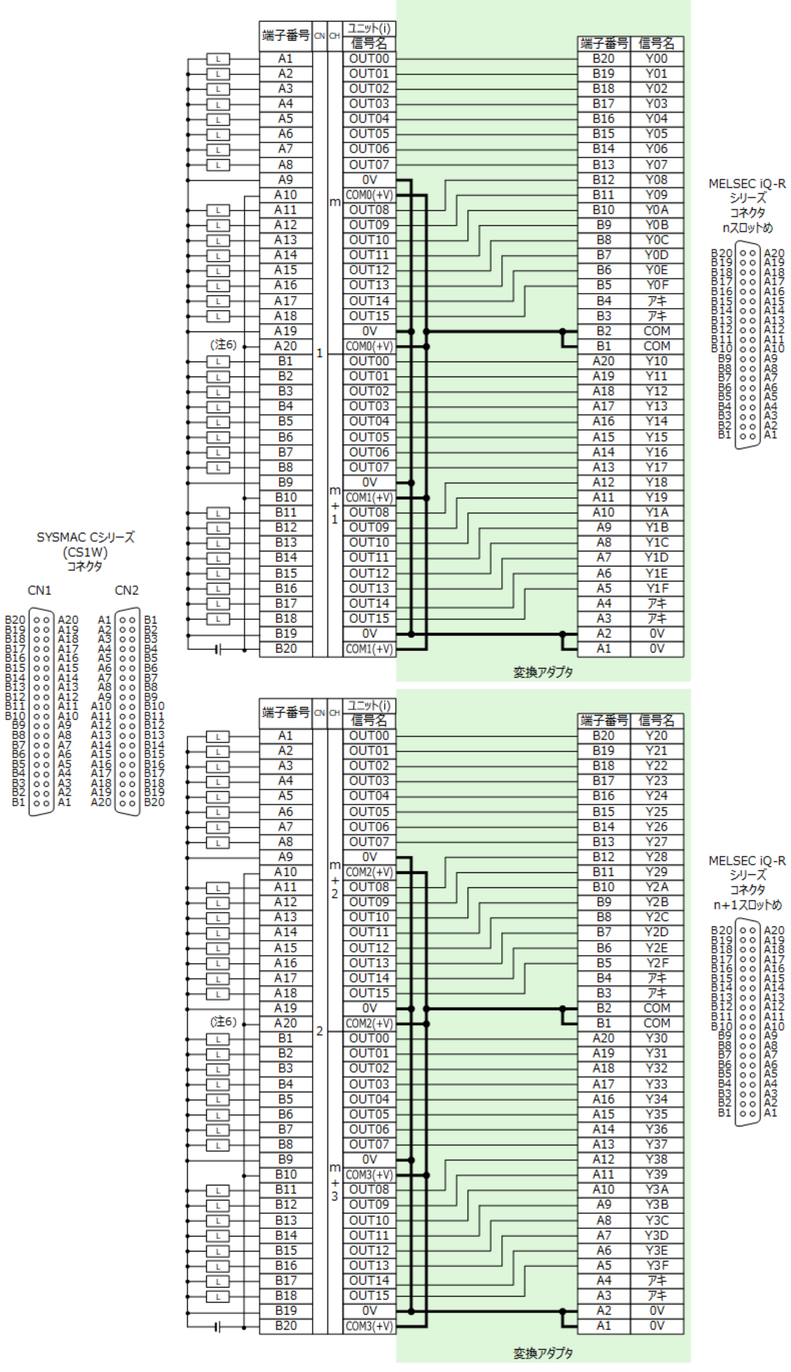
(注4) CS1W-OD261からの置き換えにおいて，1コモンあたりの点数が，16点／1コモン（4回路）→32点／1コモン（2ユニット）となるため，既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は，配線の変更が必要となります。

(h) C500-OD213⇒RY41NT2Pの場合



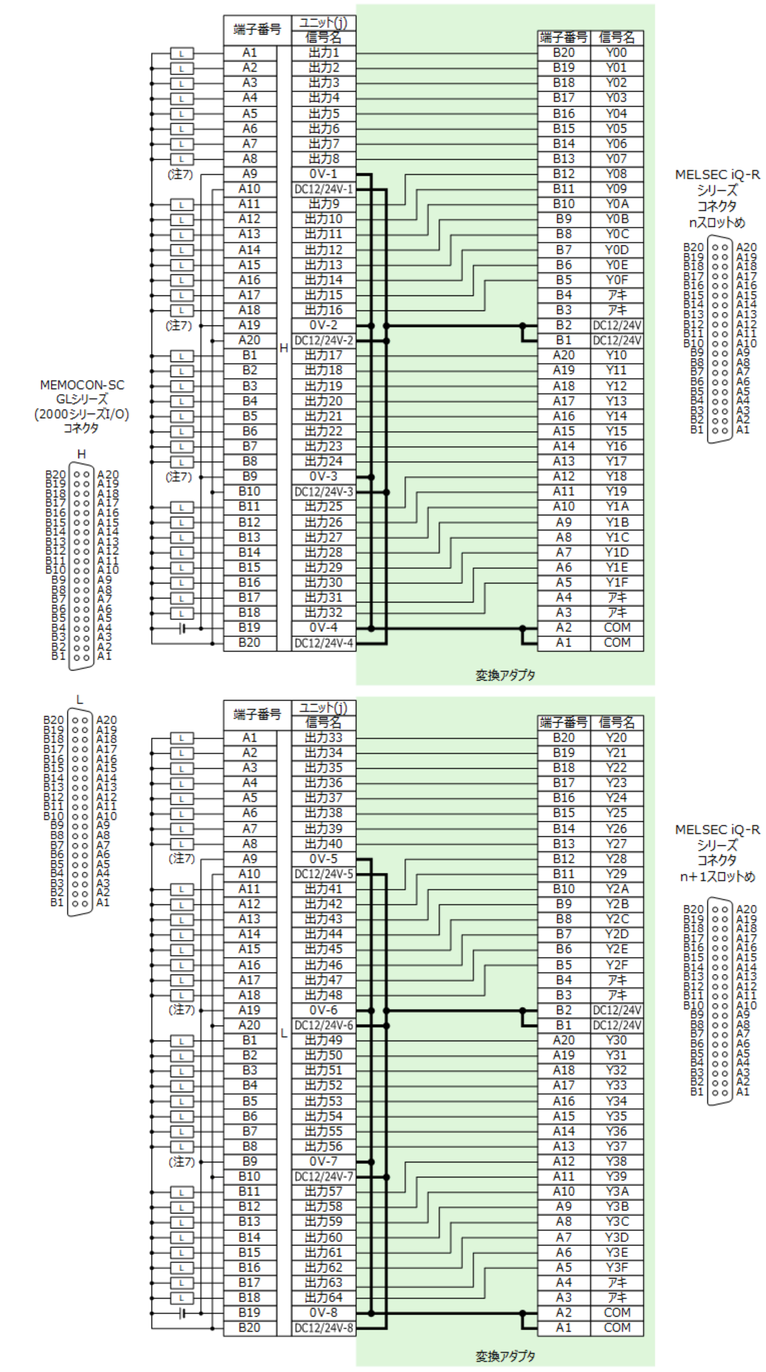
(注5) 1コモンあたりの点数が，8点／1コモン（8回路）→32点／1コモン（2ユニット）となるため，既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は，配線の変更が必要となります。

(i) CS1W-OD262⇒RY41PT1Pの場合



(注6) 1コモンあたりの点数が，16点／1コモン（4回路）→32点／1コモン（2ユニット）となるため，既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は，配線の変更が必要となります。

(j) JAMSC-B2604⇒RY41NT2Pの場合



(注7) 1コモンあたりの点数が，8点／1コモン（8回路）→32点／1コモン（2ユニット）となるため，既存ユニットのコモンを分離して使用されている場合は，配線の変更が必要となります。